

陶芸教室【2 学年】 陶芸で自分だけの作品づくり

11月4日（金）、2学年の生徒を対象に「陶芸教室」を実施しました。この講座は、生徒が身近にある文化芸術に接する機会を設けることで、将来の文化芸術の担い手や鑑賞者を育成することを目的として、茨城県の事業として開催されています。

今回は、講師として茨城工芸会会員の小林 政美 氏をお招きしました。講座では、マグカップ作りを体験しました。紙コップで型をとりながら形を整え、フォークや竹差しなどで各自好きな模様を付けていきました。

講座を終えた生徒からは、「初めて陶芸にチャレンジしてみて、奥が深いと感じた」、「陶芸は難しかったけど、小林さんがとても丁寧に教えてくださって嬉しかった」「自分の力でマグカップが作れて達成感があった。お家で大事に使っていきたいと思った」といった感想が寄せられました。



自分の力で作ったマグカップは、一生の宝物ですね。大切に使いくださいね。

<SDGs に関する特別授業>

11月11日（金）、1学年の生徒を対象に、総合的な探究の時間の一環として「SDGs に関する特別授業」を開催しました。

この授業は、「SDGs de 地方創生」カードゲームや講義を通して、SDGs に関する理解を深めるとともに、今後本校で行う SDGs をテーマにした総合的な探究の時間の学びに生かすことを目的として実施されました。今回は講師として、（株）ソフナーズの阿久津 隆男 氏においでいただきました。

授業を後の感想には「自分が暮らしている地域を良くしていくために大切なことは何かについて、ゲーム感覚で学べて楽しかった」、「最初にルール説明を聞いていたときは難しいゲームなのかなと感じていたけれど、協力し合って知恵を出し合えば、案外うまく行動できるなと感じた」、「自分の目標を達成するためには、自分の利益のみを考えるのではなく、まずは自分を取り巻く環境が良くなるように働きかけることが、のちに自分自身の大きな利益に繋がることもあるのかなと感じた」などの感想が寄せられました。



No Challenge No Future